

最優秀賞受賞にあたって

兵庫県稲美町立加古小学校

よし だ ひろ あき

吉田 博明



このたびは、本校の取組に対して、「第39回東書教育賞最優秀賞」という大きな賞をいただき大変光栄に思います。審査に関わり評価して下さったすべての皆様に感謝を申し上げます。

今、教育現場では、教員の休職や退職、代替教員の欠員など大変厳しい状況が日々伝えられ、大きな問題となっています。しかし、私たち教員が何より目を向けなければならないのは、その中で一番傷ついているのは子どもたちだという事実です。そこで考えたのが、学級担任一人に責任を負わせるのではなく、みんなで学級担任を交替しながらすべての子どもたちに関わっていく「チーム担任制」でした。全国ではいくらか報告されてきていましたが、どれも学年に複数学級ある中規模校や大規模校での実践でした。本校のような、全学年単学級の小規模校でもできないか。そう考えていたときに、全国で令和4年度から小学校高学年での教科担任制が始まりました。そこで、この教科担任制を3年生から6年生までに広げ、そこに担任を交替していくシステムを合わせることで、小規模校でも教科担任制の良さを活かしながら、チーム担任制ができるのではないかと考えました。

実際に取組を始めてみると、すぐに効果を実感できました。まず、どの学級も非常に安定し、穏やかな優しい雰囲気为学校になっていきました。教員も、年度当初の学級担任というプレッシャーを感じることなく、非常に気持ちが楽になっ

たと言います。どの先生も自分の担任の先生、どの子どもも自分の学級の子ども。子どもの中にも教員の中にも、そんな気持ちが生まれ、どの教員とも笑顔で話をしている子どもの姿が見られます。職員室でも、子どもの良い面を話題にした会話がとても増え、温かい雰囲気があふれるようになりました。またこの取組を通して、教員の時間外勤務時間が半年で一人平均約111時間減少したり、給食の残菜が減少したりという副効果を得ることもできました。

2年目を迎えた今年度、10月に開催した本校独自の研究発表会には、北海道から宮崎県まで全国各地から109名の方々に来校いただき成果をお伝えすることができました。この度の受賞により、さらに多くの方々に本校の取組を知っていただくことができれば幸いに思います。

最後になりましたが、本校の取組を温かく見守っていただいた稲美町教育委員会、兵庫県教育委員会には厚く御礼を申し上げます。また、この実践の中心となって頑張ってくれた子どもたち、支えてくださった保護者や地域の方々にも感謝の思いでいっぱいです。そして何より、今まで誰も取り組んだことのない挑戦に、勇気をもって取り組んでくれた本校の教職員を誇りに思うと共に、みんなでいただいたこの「最優秀賞」を心から喜びたいと思います。本当にありがとうございました。